

【1】次の行列はいずれも頂点数 5 の単純無向グラフの隣接行列である。それらどのグラフの隣接行列であるか、下記の選択肢 (a) ~ (h) から選んで記号で答えよ。

$$(1) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (2) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (3) \begin{pmatrix} 0 & 0 & 1 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(4) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \end{pmatrix} \quad (5) \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 \end{pmatrix} \quad (6) \begin{pmatrix} 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 1 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

選択肢：

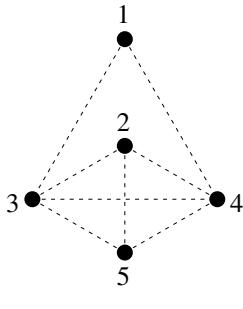
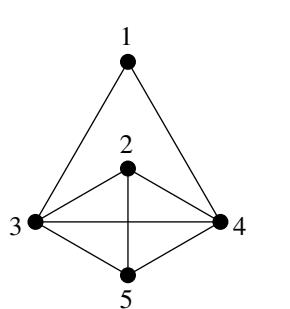
- (a) 閉路グラフ C_5
- (b) 完全グラフ K_5
- (c) 星グラフ $K_{1,4}$
- (d) 完全二部グラフ $K_{2,3}$
- (e) ピータスングラフ
- (f) 空グラフ N_5
- (g) 道グラフ P_5
- (h) 車輪グラフ W_5

解答欄：

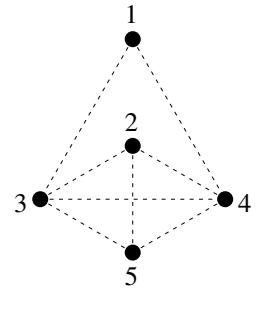
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)

【2】左下図のグラフについて、1を根とする幅優先探索木、深さ優先探索木をそれぞれ解答欄へ図示せよ。（幅優先探索では、探索点の隣接点のうち、未探索なものを番号の若い順にキューに追加してゆく。深さ優先探索では、探索点の隣接点のうち、未探索で番号の最も若いものへ進む。）

解答欄：

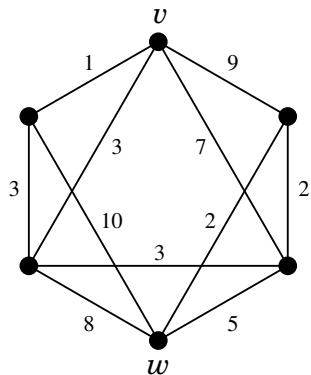


幅優先探索木

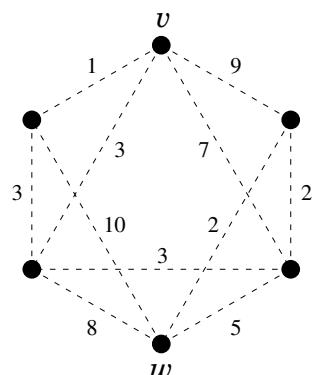


深さ優先探索木

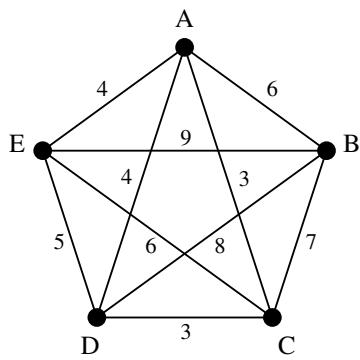
【3】次の重み付きグラフ G において、 v から w への最短路を解答欄に描き込め。

 $G :$ 

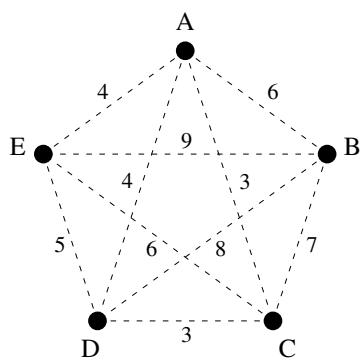
解答欄：



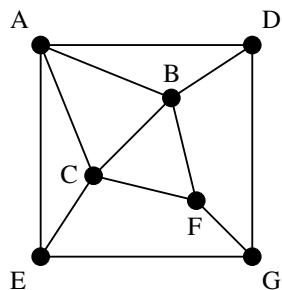
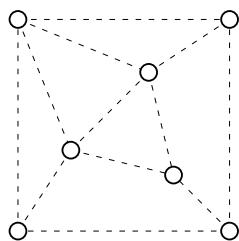
【4】次の重みつきグラフ G の最小連結子（重み最小の全域木）を解答欄に描き込め。

 $G :$ 

解答欄 :

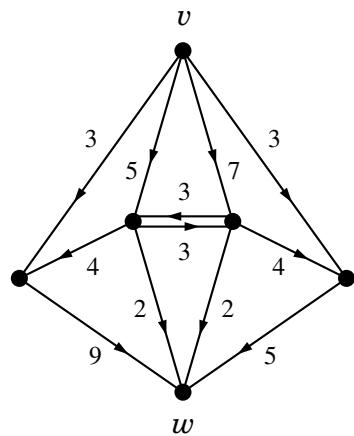


【5】(1) 次の平面グラフ H の幾何学的双対グラフ H^* を解答欄に描き込め。

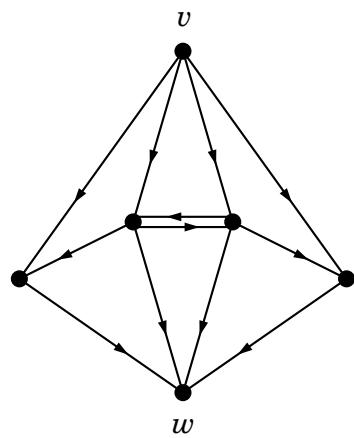
 $H :$ 解答欄 $H^*:$ 

(2) H と H^* は同型である。解答欄の頂点に $A \sim G$ の名前を書き込んで隣接関係が H と等しくなるようにせよ。

【6】右図のネットワーク N の最大フロー φ をひとつ求め、解答欄の各弧 a に $\varphi(a)$ の値を書き入れよ。また、最大フローの値を答えよ。ただし、 v を入口、 w を出口とする。



解答欄 :



最大フロー φ の値 :

【7】頂点数 6 の連結単純無向グラフで、それぞれ次の性質を持つものをひとつずつ答えよ。（図示でも名称でも良い。）

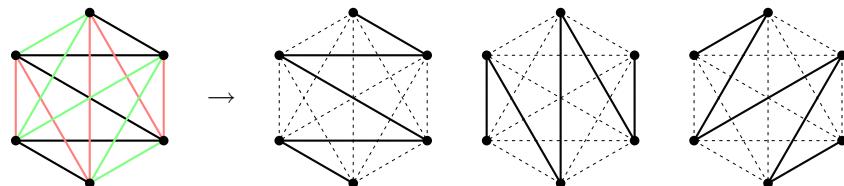
(1) 連結度、辺連結度がどちらも 3 である。

(2) 辺数は 12 で平面的である。

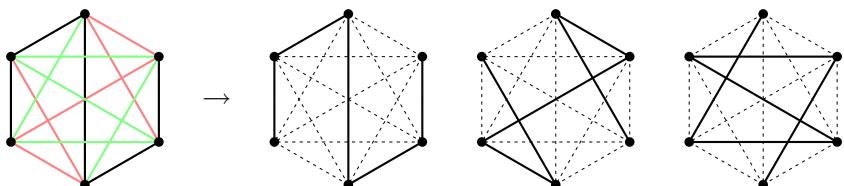
(3) K_4 を部分グラフとして含まないが、彩色数は 4 である。

【8】6 頂点の完全グラフ K_6 は次のようにいくつかの全域木に分解することができます：

分け方その 1:



分け方その 2:



（問題は右上に続く。）

(1) K_4 をいくつかの全域木に分解せよ。(ひととおりで良い。)

(2) 連結な単純正則グラフ G がいくつかの全域木に分解できるとき、 G は頂点数が偶数の完全グラフである。このことを次の手順に従って示せ。

(a) G の頂点数を n 、分解した全域木の個数を k とするとき、 G の辺数を n と k の式で表せ。

(b) さらに G の頂点の次数を r とするとき、 G の辺数を n と r の式で表せ。

(c) k を n と r の式で表せ。

(d) n と $n - 1$ が互いに素であることをヒントに、 $r = n - 1$ かつ n は偶数であることを示せ。